

大塚山処分場増設事業 第四処分場建設及び第三処分場（3-2）嵩上げに係る環境影響評価方法書  
委員から寄せられた質疑・意見に対する事業者の見解

令和5年4月21日  
大平興産株式会社

| No. | 項目   | 細目    | 質疑・意見の概要   | 事業者の見解  |
|-----|------|-------|--|---|
| 1   | 事業計画 | 事業経緯  | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第三処分場(3-2)において、壁面が掘削した後があるが元々は砂取場であったのか。   | (3月24日現地調査での回答)<br>砂取場としての利用はしておらず、掘削痕は処分場の造成工事の際にできたものです。                        |
| 2   | 事業計画 | 第二処分場 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>塩化物イオンは元々どのような廃棄物に含まれていたため地下水への影響が生じたのか。   | (3月24日現地調査での回答)<br>プラスチック類等の焼却により発生したばいじん、燃え殻から溶出したものと認識しています。                    |
| 3   | 事業計画 | 第二処分場 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第二処分場において漏洩した場所の特定はできるのか。                  | (3月24日現地調査での回答)<br>第二処分場において漏洩に関与したと考えられる地層は特定されており、その分布状況も概ね把握しています。             |
| 4   | 事業計画 | 第二処分場 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第三処分場(3-3)を設置する際、第二処分場に設置した仕切り壁とはどのようなものか。 | (3月24日現地調査での回答)<br>第三処分場(3-3)からの浸出水が第二処分場に影響を及ぼさないよう設置したものです。                     |
| 5   | 事業計画 | 第二処分場 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>仕切壁の構造はどうなっているのか。                          | (3月24日現地調査での回答)<br>φ800mmの鋼管を地中に打ち込み、継手の隙間をセメントモルタルで埋め、仕切壁を構築しています。               |
| 6   | 事業計画 | 第二処分場 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>埋立が中断している第二処分場は、今後、埋立を再開する予定はあるのか。         | (3月24日現地調査での回答)<br>塩化物イオンの漏洩が確認されている処分場のため、千葉県から埋立を行わないよう指導を受けている状況です。            |
| 7   | 事業計画 | 遮水工   | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>遮水シートの耐用年数は何年か。                            | (3月24日現地調査での回答)<br>通常の紫外線を受けている状況では、一般には約50年程度とされています。埋立後は紫外線劣化等の影響は受けないので半永久的です。 |

| No. | 項目   | 細目    | 質疑・意見の概要   | 事業者の見解   |
|-----|------|-------|--|--|
| 8   | 事業計画 | 遮水工   | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>ベントナイト混合土で遮水しないのか。                                       | (3月24日現地調査での回答)<br>遮水工は構造基準に準拠し、二重遮水シートとし、さらに電氣的漏水検知システムを採用しリスク低減を図る計画としています。ベントナイト混合土については、工期・施工費・施工管理の点において二重遮水シートによる遮水に比べ不利であったので採用はしていません。   |
| 9   | 事業計画 | 浸出水処理 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>浸出水の集水率は、どれくらいカバーできているのか。                                | (3月24日現地調査後の追加回答)<br>基本的に100%集水されると考えています。   |
| 10  | 事業計画 | 浸出水処理 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第三処分場(3-2)の浸出水を外部搬出して、他社で処理するのか。                         | (3月24日現地調査での回答)<br>第三処分場(3-2)は、埋立廃棄物に燃え殻、ばいじんが多く、浸出水の塩化物イオン濃度が高いため、浸出水量を減らすために最終覆土の上部に遮水シートを敷いています。<br>第三処分場(3-2)嵩上げ部の供用時には、遮水シートを除去するため、塩化物イオン濃度が高い浸出水の量が増加することから、その全量を外部に搬出して他社に処理を委託する計画です。 |
| 11  | 事業計画 | 埋立計画  | (3月24日現地調査後の追加質疑・意見)<br>処分場では硫化水素の発生が問題になることがあるが、廃石膏ボードなど硫黄化合物を含む廃棄物は受け入れているか。 | (回答)<br>廃石膏ボードの受け入れは行っておりません。  |
| 12  | 事業計画 | 埋立計画  | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>埋立した下水汚泥の性状は生の汚泥か、それとも脱水処理したものか。<br>また、それがどれくらい入っているのか。  | (3月24日現地調査での回答)<br>第二処分場では主に脱水処理した下水汚泥を受け入れており、埋立量の半分近くを占めていました。第三処分場(3-2)以降では、し渣、沈砂のみ埋立しており、その量は多くありません。  |

| No. | 項目   | 細目   | 質疑・意見の概要   | 事業者の見解  |
|-----|------|------|--|---|
| 13  | 事業計画 | 埋立計画 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>一般廃棄物及び産業廃棄物の汚泥はどこからの受入物か。                                   | (3月24日現地調査での回答)<br>現在供用中の第三処分場(3-3)では、一般廃棄物は富津市のばいじんを固化したもののみです。産業廃棄物の汚泥は製造業からの無機汚泥が多くなっています。           |
| 14  | 事業計画 | 埋立計画 | (3月24日現地調査後の追加質疑・意見)<br>受入廃棄物について、抜き取り検査(運搬車から採取して迅速溶出試験など)を行っているか。                | (回答)<br>燃え殻、ばいじん等について適宜抜き取り検査を行っています。運搬車から降ろして埋立てる前のものを分析機関に持ち込み、溶出試験等を行っています。                          |
| 15  | 事業計画 | 埋立計画 | (3月24日現地調査後の追加質疑・意見)<br>埋立作業について、降雨時、強風時など、天候によって対策をとられているか。                       | (回答)<br>荒天が予想されるときは搬入そのものを止めています。   |
| 16  | 事業計画 | 埋立計画 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>覆土材はどこから持ってくるのか。   | (3月24日現地調査での回答)<br>現在の埋立区域は、土壌汚染対策法の汚染土壌埋立処理施設であり、汚染土壌を覆土材の一部として使用していますが、今回増設する処分場では第四処分場建設時の発生土を使用します。 |
| 17  | 事業計画 | 埋立計画 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>増設処分場の埋立期間はどのくらいか。   | (3月24日現地調査での回答)<br>月約6000t、月25日で計算しており、第三処分場(3-2)嵩上げ部で1.8年、第四処分場で9年としています。                              |
| 18  | 事業計画 | 工事計画 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第四処分場建設工事の造成による発生土の利用方法をどう計画しているのか。<br>伐採樹木の処理方法をどう計画しているのか。 | (3月24日現地調査での回答)<br>発生土は、増設処分場の主堤体や覆土に利用する計画です。<br>伐採樹木は、外部委託によりチップ化などの再利用を行うことを考えています。                  |
| 19  | 事業計画 | 跡地利用 | (3月24日現地調査での質疑・意見)<br>第一処分場の天端平地等に太陽光パネルを設置する計画はあるか。                               | (現地調査後の追加回答)<br>第一処分場の上面は発生土置き場として使用するため、太陽光パネルを設置する計画はありません。   |

| No. | 項目                | 細目   | 質疑・意見の概要   | 事業者の見解   |
|-----|-------------------|------|--|--|
| 20  | 事業計画              | 跡地利用 | <p>(3月24日現地調査での質疑・意見)</p> <p>処分場の埋立終了後、緑地に戻すとしているが最終覆土1mの上に行うのか。そうであれば、発生土を用いることから、発生土のうち表土保全(表土のみシート掛けするなどして取り置きしておく)を行い、それを最終覆土にするべきではないか。</p> | <p>(3月24日現地調査での回答)</p> <p>御指摘いただいた内容も参考に、表土保全については今後、検討させていただきます。</p>                                    |
| 21  | 対象事業実施区域及びその周囲の概況 | 悪臭   | <p>(3月24日現地調査での質疑・意見)</p> <p>方法書第3章の過年度調査の悪臭において厨芥臭とあったが厨芥を搬入していたのか。</p>   | <p>(3月24日現地調査での回答)</p> <p>厨芥は搬入していません。</p> <p>処分場内では有機物が分解して厨芥のような臭気が発生する場合がありますので、厨芥そのものの匂いではありません。</p> |
| 22  | 調査等の手法            | 動物   | <p>(3月24日現地調査での質疑・意見)</p> <p>鳥類の定点調査地点st-4(p6-101)において、高宕川上流部と記載されているが、地形的に下流側となるのではないか。</p>   | <p>(3月24日現地調査での回答)</p> <p>p6-103においてSt.4と対象事業実施区域の間で高宕川が流れており、対象事業実施区域に対して東側は高宕川上流となるためそのように表現しました。</p>  |

| No. | 項目     | 細目 | 質疑・意見の概要   | 事業者の見解   |
|-----|--------|----|--|--|
| 23  | 調査等の手法 | 動物 | <p>(3月24日現地調査での質疑・意見)</p> <p>昆虫のトラップ (p 6-107) について、供用後のモニタリングをするのであれば埋立区域内ではなく、区域外を重視するべきではないか。</p> <p>比較するのであれば、埋立区域内外で近い位置に設定するほうがよい。</p> | <p>(3月24日現地調査での回答)</p> <p>改変区域において状況を把握するものであり、埋立区域外との比較のために調査地点を設けています。</p> <p><b>(現地調査後の追加回答)</b></p> <p>調査地域を土地利用、植生、集水域等を目安にして4地区に区分した上で、各地区の代表的な地点にそれぞれ調査地点 (ベイトトラップ、ライトトラップ、バタフライトラップ、パントラップ) を設定しました。このため、工事前後の比較については、直接改変地以外のこれらの地点で実施する予定です。ただし、第四処分場が計画されているB地区については、消失する環境における現況把握のため、上記の他に直接改変地に2地点をさらに追加して設定しています。</p> |